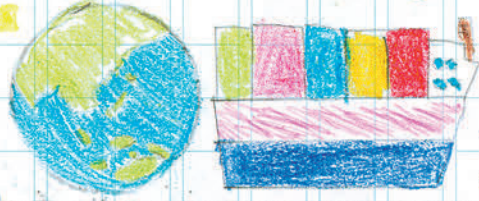
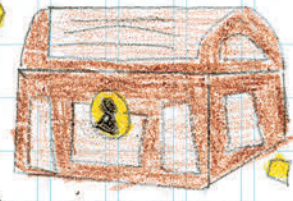


世界を支えるコンテナ船

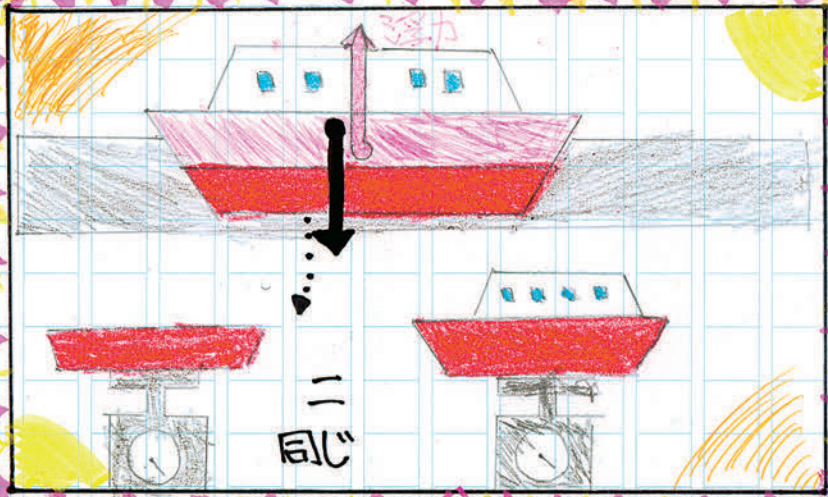


大切な仕事



船が浮くのは、「浮力」があるからであり、物には「密度」と「体積」が広く大きいほど、浮きやすくなります。計算上では、浮力と重さのバランスさえ取れば、これならば

なぜ船は浮く!?



どんな大きなサイズの船でも、浮くようになります。

海を渡る宝 新聞
コンテナ船の秘密に迫る

立学組花
市小之百
嶋山年山
新青5西

コンテナ船の走行速度!!

意外!! 意速

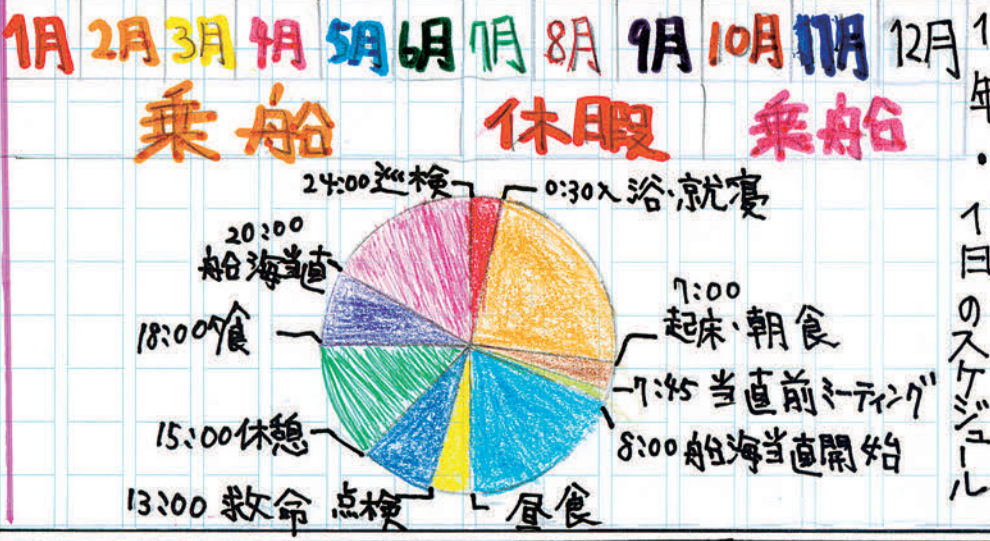


貨物船による速度は違いますが、高速船といわれるコンテナ船は時速44kmの走行速度で海上を進みます。ゆっくりだなんて思う人もいますが、一般の道路を走る自動車よりも速いのです。

船が走行しているスピードを見かけますが、広い海上の上だとゆっくり進んでいるように見えますが、実際はこんなにも速く進んでいると知りビックリしました。ちなみに、海上の速度は1海里という単位。1海里は1852m。船の速度は7ノットで表し、船が1時間に1852m進む速度1ノットといえます。コンテナ船は時速44kmなので「時速24ノット」という表現にもなります。

船の中での過ごし方

船海の間、働く時間は1日8時間。それ以外の時間はたいたい自由時間。そして、日曜日は休み。なにより、時間をうまく使えることができた。1日のスケジュール



コンテナ船に感謝して!



コンテナ船の歴史!

コンテナ船って? コンテナ船とは、貨物船の一種で、中でもスケジュールにもとづき、決まった港を定期的に行き来する定期船のことです。

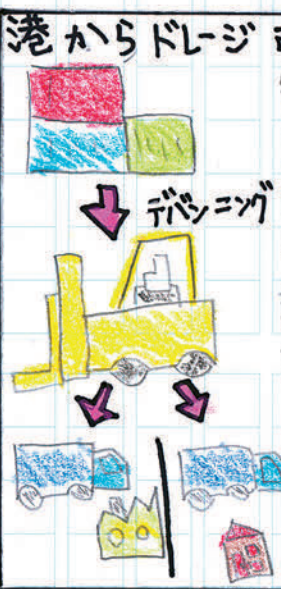
コンテナ船の始まりは世界で活やくしているコンテナですが50年前には貨物は船にバラ積み状態で輸送され、一部はクレーンを使用していました。1961年にはコンテナ輸送は一人の陸運業者のアイデアから始まった発明でした。おかげでコンテナ一つ一つが管理され、私たちにとどくようになりましした。

コンテナ船のメリット

① 輸入のメリット
コンテナはがんじょうに作られているため、コンテナの中に商品をつめる作業はかん単にできるようになります。

② 運送のメリット
コンテナなら雨でも屋外においておくことができたり、船への積みおろしなどの作業も行えます。

③ 輸入・運送のメリット
運送のとき、コンテナ内の商品をとり出さずにそのまま運送することが可能になります。



コンテナ船の環境への取りくみ

コンテナ船に Q & A インタビュー!!

Q 「コンテナ船の上は船よいし暑せんか?」
A 「ホクホクしたいな大きい船は安定してるのよ!」

Q 「つらいことはなんでしょうか?」
A 「やはり自然です。ままぐれな雨や風はつらいです。」

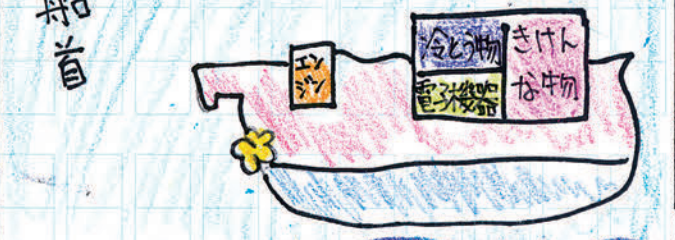
Q 「これから頑張ってください!」
A 「はい!」

意外に少ない!!
コンテナ船の乗員

コンテナ船で働く人って何人いるの?
 ・ 責任者: 船長
 ・ 物の管理: 船海士
 ・ 運転・整備: 機関士
 ・ コック: ミソ厨士

あわせて 22人!!

コンテナを積みおろす際のひと工夫!!



コンテナ船は様々なものを運ぶ船のため、その積み方にも工夫がされています。葉材や火などは、インエンジンからはなれた所に電子機器は雨風に強いデッキの下に、冷とう物はその上にあります。

このままだと火害がおきちゃう

でも、コンテナ船はCO2の排出量が少ない!!

編集後記
私は、最初コンテナ船のことについて全然知識がありませんでした。しかし、話をきいていくうちに私達の皆さんの生活がいかにコンテナ船に支えられているかを知りました。そして、海運に関わる人たちの努力と歴史があるからだと、いうこと。更に調べていくうちに、私はコンテナ船のみに力にひかれ、そして私の様に新聞を通してコンテナ船の力が読む方にも伝われば、いいなと思いました。